

ふじの実

<教育目標>

- 思いやりの心もち、協力し合う子
 - 深く考え、工夫して学習に取り組む子
 - 進んで体をきたえ、ねばり強くやりぬく子
- 〒942-0061上越市大字春日新田1274
TEL025-543-4256、543-4172
FAX 025-543-0089

親が子どもの鏡に

校長 大山 賢一

右に載せたのは、イソップ童話の「カニの親子」です。私はこれを読んで、子どもに課題があれば、それは私たち大人に責任があるのだと思いました。子どもを責める前に、私たち自身が子どもに対して、どんな態度をとっているか、振り返る必要があります。

子どもは、私たち大人の鏡です。

子どもは、私たち大人のことを実によく見ています。子どもと毎日一緒に過ごしている私たちは、しぐさ、言葉使いなど、心の中まで、見られています。「人のふり見て 我がふり直せ」といいますが、「子どものふり見て大人のふり直せ」ということになります。

子どもたちは、小さい時からテレビやビデオ、ゲーム、スマホなどのメディアとかがかかってきており、かかわる時間が長くて睡眠時間が少ないこと、ネットでのいじめがあること、ポルノ画像や暴力画像などの有害情報を見ていることなど、様々な問題が指摘されています。このようなツールを与え、使える環境を用意したのは、子どもではなく大人です。

全国学力テストでは、1日に2時間以上メディアと付き合っている子どもの学力は、接する時間とともに低くなるといわれています。そして、メディア中毒になっていきます。日本小児科医会では、右のような提言をしています。そこで、直東学園では、規則正しい生活習慣を身につけるように、「ノーテレビ・ノーゲームデー」を実施しています。本校では、「けんこうの日」と呼び、様々な取組をしています。子どもに教える近道は、カニの親子の話のように、親がお手本を見せることです。親もメディア漬けになっていると、教えるのはとても難しいですが、子どものためにもここは親の出番だと考え、親が子どもの鏡になりましょう。

そこで、家族と一緒に相談し、生活の在り方をできることから改善していくようにするとよいです。家族で課題を共有することはよいことです。その課題を目標にして、具体的に行動することです。うまくいかなければ、すぐに改善していきましょう。

困ることがあれば、どんなことでも担任に相談しましょう。応援します。

カニの親子

カニのおかあさんが、その子に、「横にはうものではありませんよ。また、わき腹をじめじめした岩にこすりつけてはいけませんよ。」といいました。

子どもは、「そう教えてください。お母さんが、まっすぐに歩いてみてください。私はそれを見て、そのとおりにします。」といいました。

日本小児科医会の提言

- 1 2歳までのテレビ・ビデオ視聴は控えましょう。
- 2 授乳中、食事時のテレビ・ビデオの視聴は止めましょう。
- 3 すべてのメディアへ接触する総時間を制限することが重要です。1日2時間までを目安と考えます。テレビゲームは1日30分までを目安と考えます。
- 4 子ども部屋にはテレビ、ビデオ、パーソナルコンピューターを置かないようにしましょう。
- 5 保護者と子どもでメディアを上手に利用するルールをつくりましょう。

校内書き初め大会 1月12・13日

平成28年がスタートし、気持ちを新たに書き初めに取り組みました。今年は2日間に分け、ゆとりをもって実施できるようにしました。冬休みには、ご家庭でもたくさん練習の機会を設けていただき、感謝申し上げます。とめ・はね・はらいや文字の全体のバランス等、上手に書くポイントを意識し、どの子どもも上達を実感できたのではないかと思います。書き初めは体育館や多目的教室、自教室と場所が様々でしたが、ピンと張りつめた静寂の中、真剣に取り組む子どもたちの姿が見られました。



1年
「大きなゆきだるまをつくりました。」



2年
「まっ白い雪がたくさんつりました。」



3年「日の光」



4年「元気な子」



5年「平和交流」



6年「真の友情」

子どもたちの活躍

【第33回小学生作文コンクール】

NST賞 4年 石田 匠

【第83回全国書画展覧会】

筆都大賞 3年 國本玲奈

【CGC第34回全国児童画コンクール】

優秀賞 2年 小林愛加

入選 5年 歌 和史

【第12回上越信金小学生図画展覧会】

金賞 4年 清水堅斗

銀賞 1年 塚本あやめ 3年 横尾陽向 4年 水品遥希 6年 有坂梨美

銅賞 3年 桐木陽菜子 5年 原田陽祐 5年 大川尋貴



【第46回新潟県ジュニア美術展覧会】

特賞 2年 渡邊柊也

奨励賞 1年 宇賀田七虹 1年 笹木 優 1年 岡森巧海 1年 中嶋妃菜

1年 丸山璃人 1年 瀧田緋糸 1年 関口 想 3年 増田暁斗

4年 石戸珠莉也 4年 大島有貴

学校保健委員会開催(1月21日)

テーマ:「ふじの実っ子のより良い生活習慣の確立を目指して」



第2回目の学校保健委員会を実施しました。毎月10日の「けんこうの日」の振り返りや、アウトメディアについての取組等について話し合いました。委員会の子どもとPTA保健部の役員、学校運営協議会委員とのグループ協議では、活発な意見交換がなされました。今年の実践を踏まえ、来年度は、「早寝」や「メディア」について強調した取組をした方が良く方向性を出していただきました。教師と保護者が良きパートナーとなって子育てしていくことが必要であると確認しました。

フリー参観ありがとうございました



たくさんの保護者の方に参観していただき感謝申し上げます。底冷えする体育館で、整然と並び、跳び箱運動をがんばっている1年生を見て、びっくりしました。半袖、短パンの子どもがいるではありませんか。子どもたちのエネルギーを感じた場面でした。5年生では、アウトメディアについて、上越市教育委員会田邊指導主事から具体的な指導をいただきました。また、上越教育大学の山本先生からは、睡眠の大切さについて教えていただきました。

生徒指導コラム

今年は遅めでしたが、雪のシーズンがやってきました。休み時間には、外で雪遊びを楽しむ子どもたちがたくさんいます。ただ、トラブルもあります。その原因の一つが言葉です。相手の嫌がるようなこ

とや挑発するようなことを言って、トラブルになることがとても多いです。

豊かな人間関係を築くためには、相手の気持ちを考えた言葉を使えることが大切です。「ありがとう」「ごめんなさい」は、基本ですね。まずは、大人が手本を見せ、子どもたちの言葉環境をよくしていきましょう。

家庭教育講座資料

言うにはちょっと勇気がいるけれど、言われると心が温かくなったり、緊張がホッと緩んだりする思いやりの言葉があります。

素直に言えるようになりたい大事な言葉 「ありがとう」「ごめんなさい」



日頃から耳にしない言葉は、うまく使えるようにはなりません

- ★「ありがとう」を言う場面はたくさんあります
親がお手本を見せましょう
- ★家族や夫婦で、ささいなことでも日頃から「ありがとう」と言う習慣をつけましょう

家庭で、日常的に耳にすることで、 どんなときにどんなふうに使うのかを覚えます

- ★「ごめんなさい」も大人のお手本が大切です
- ★謝罪を受け入れる姿も見せましょう



- ★「ごめんなさい」を言えた勇気を認めましょう

心を込めて言えると相手の心に伝わります

新潟県教育委員会・新潟県地域家庭教育推進協議会